

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成29年5月20日

4月全体会議

4月25日、まちづくりス
テーション小名浜におい
て、4月全体会議が行われ
ました。

株式会社いわきスポーツ
クラブ代表取締役兼総監督
の大倉智様を講師にお迎え
し、「いわきFCの現状と
今後」を題材にご講演を頂
きました。

まず、先日行われた天皇
杯福島県予選決勝で、福島
FCを下し、全国大会の一
回戦では8-2でノルブ
リッツ北海道を破り、次戦
はJ1のコンサドーレ札幌
との対戦であるとの報告が



—小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ—

第16期定時総会開催のご案内

5月25日午後6時より、小名浜潮目
交流館において、小名浜まちづくり市民
会議第16期定時総会を開催します。総
会では平成28年度事業報告、収支決算
報告の後、平成29年度事業計画案、収
支予算案が審議されます。会員の皆様
は お誘い合わせのうえご来場ください。



ありました。大
倉社長は、サツ
カー選手を引退
した後、榎ドームの安田社
長との学生時代以来の再会
がその関りのスタートで
あり、震災直後ボランティア
アでいわきに来た事もいわ
きFCを立ち上げるきつつか
けとなったと話していまし
た。

いわきFCは、スポーツ
を通じて社会を豊かにする
をテーマに、「いわき市を
東北一の都市にする。日本
のフイジカルスタンダード
を変える。人材育成と教育
を中心に据える。」をビジョ
ンに掲げています。
今後は、J1を目指すだ

第64回いわき花火大会にむけて

本年64回を数えるいわき市
花火大会において、大会開催
にむけて3つの委員会の委員
長より、今回の抱負をうかが
いました。

花火大会委員長
上野台 祐一

いわき花火大会は今年で第64
回を迎える、いわき最大の夏の
祭典です。

「夜空に魔法を」をテーマ
に今年も素晴らしい花火をみな
さんにお目にかけられるよう現
在準備を進めております。

今年約1万2000発の花
火を予定しており、音楽と花火
の見事なコラボレーションを見
せる「創作花火」や、結婚記念
や亡くなった方への追悼、そし
て企業のPRなど市民の方々が
それぞれの思いで打ち上げる
「市民花火」を打ち上げます。

ぜひ花火大会会場の小名浜港
アクアマリンパークに足を運ん
でいただき、いわきの花火をL
IVEでお楽しみください。

海遊祭委員長
柳葉 周作

毎年恒例のおなはま海遊祭
今年も実施します。アクアマリ
ンパークのイベントはいくつも
ありますが、実際に海と触れ合
えるイベントは何と言っても海
遊祭です。キッズボート・ジェツ
トスキー・バナボートの体験
乗船。ボールの中に入って水上
を歩くアクアウォーカー等。ア
トラクションがすべて無料で楽
しめます。さらに毎年恒例の
ジェットスキーアクロバット
ショーも実施予定です。

陸上では、自衛隊の車両展示
や、防災教室などと併に、いわ
き青年会議所主管による「I W
A K I On a h a m a H u
l a 2017」(フラのステ
ィ及び、ハワイ感なども取り入
れた飲食や物販のショップ展開
など)を同時開催させて頂きま
す。

ぜひ会場に足を運んでいただ
き、いわきの海、夏、フラの魅
力を感じてみてください。

おどり委員長
作山 勝広

いわきおどり小名浜大会の季
節が近づいて来ました。
おどり委員会も昨年以上に盛
り上げようと会議を重ねていま
す。

今年のおどり会場も昨年同様
本町通りとニッサンサテイト迄
の800mを会場に6月1日より参
加団体を募集致します。昨年在
上回る人数で計画をしています。
いわき花火前夜祭いわきおどり
小名浜大会で燃えあがりましよ
う。

第64回いわき花火大会

- おなはま海遊祭
日時 平成29年7月29日・30日
AM10:00～PM16:00
場所 小名浜港1・2号埠頭間
アクアマリンパーク
- いわきおどり 小名浜大会
日時 平成29年8月4日
PM17:10～PM21:10
場所 県道平小名浜線(鹿島街道)
日産サテイト・本町通り
交差点の間
- いわき市花火大会
日時 平成29年8月5日
PM19:00～PM21:30
場所 アクアマリンパーク

地域学 小名浜みなと学講座

第2回

第2回講座は、
昨年12月17日、
会場を「いわき・ら・ら・ミユ
ウ」に移して開催され、い
わき歴史文化研究会の小野
一雄代表が、「小名浜地域の
歴史・文化」について
講義されました。江戸時
代以降の小名浜港を中心と
した講義でしたが、小野代
表の「とっておきの話」と
して、江戸時代に、小名浜

港を出港後に漂流し、ペト
ナムに流れ着いた「住吉丸」
の乗組員が苦難を乗り越え
て小名浜に帰ってきたとの
史実が紹介されました。初
めて聴く小名浜の歴史に、
「鎖国の時代に、世界を見
てきた小名浜人が居たの
か」と驚きの声が上がって
いました。また、小野代表
からは、小名浜の地名につ
いて「女浜が由来との説も
あるが、『岡小名村の浜辺』
が正しい」とのトリビアも

皆さんご存知でしたか!?



豪華客船 飛鳥II入港



4月18日、国内最大の豪華客船「飛鳥II」が震災後初めて小名浜港に寄港しました。

飛鳥IIは全長約241m、高さは海面から約45mでビル15階の高さに相当します。入港は悪天候のため、予定より7時間遅れで到着し、式典などは中止となつてしまいましたが、岸壁では市の企画に応募した市民約120人が間近で船を見学し、市内の高校生らがフラダンスを披露していわきの魅力をPRしました。船は午後6時半に横浜港に向けて出港しました。

第2回 どんとやれ 大漁旗ノ 開催

5月3、4日「どんとやれ、大漁旗！」が開催されました。昨年は小名川沿いに150流もの大漁旗を掲げましたが、今年は数を200流に増やし、色とりどりに並んだ大漁旗が風にたなびき、小名川を彩りました。

3日の夜はライトアップされ、イベント会場では小名浜を舞台としたアニメ「人力戦艦! 澤風・汐風」の上映などもあり賑わいをみせました。4日は特設ステージにおいて、いわき海星高校、小名浜高校、平商業高校等の学生達が出演フラダンスなどが披露されイベントに花を添えまし



▲ライトアップされた大漁旗

た。河川沿いは歩行者天国とされ、小名浜ならではの、さんまのポーポー焼き、かつおの浅焼き、たけちくわなどの加工食品や、衣類・物産品の販売が行われ、たくさんの方々の来場のもと、まさに漁師のまち小名浜の風情を呼び覚ますイベントとなりました。「どんとやれ! 大漁旗」は、小名浜の初夏の風物詩として、港町から元気を発信していくイベントです。

小名浜学事始め

「大漁旗」

大漁旗が新造船のお祝いとして、船主に親戚・造船所・組合・同業者・取引業者から贈られるようになって



▲寿和丸の初出漁

小名浜マリブリッジ渡り初め

今年3月に完成した小名浜マリブリッジにおいて、4月23日に完成記念イベントが開催されました。

関係者によるテープカットの後マリブリッジの長寿を願って、三世代夫婦による渡り初めが行われた

ほか、当日午後には「完成記念ウォーク」として特別に一般開放され、約6000人の来場者が橋を歩き、雄大な海を臨む見事な眺めを楽しみました。マリブリッジは、石炭の国際バルク戦略港湾として整備が進む東港と3号ふ頭を結ぶ唯一の連絡橋で、



▲開放された橋を歩く市民 (写真提供: いわき民報社)

たのは、今から約60年前の昭和30年(1955)前後の頃と言われています。旗が最初に船に飾られるのは、造船所から船を海に下ろす「おろし(進水式)」の時、その後は正月や初出漁の時に出番があります。また、浜の催事で目にするものがあります。旗には、船名と贈主と大漁の太文字と大漁を祈願する図柄「鶴・亀・千鳥・富士・宝船・日の出・鷹・鯛・大黒様・打ち出の小槌」などが描かれ、地元染料屋さんでつくられています。昨年、色彩豊かな大漁旗(漁民文化の華)はアート作品として注目もされています。

めからの囃き

今年64回の開催を数えるいわき花火大会は、大きく3つのイベントで構成されています。そのイベントを進めるために運営資金の調達を司るのが「募金販促委員会」です。

イベントを行うには、多額の資金が必要になります。その資金は大きく2つの方法で調達します。一つは地域住民の皆様や各企業様からのご寄付です。毎年多額のご寄付をお預かりしてイベントを運営させて頂いています。しかしながら、現状の花火大会を中心にしましたイベントの内容を支えるにはもう一つの資金調達方法が必要で、会場内を有料指定席として販売し、その収入を加えて全体の運営をしています。

これらの資金調達を関係者と打合せしながら、多くの企業や機関を手分けして訪問、イベント運営全体の内容をご説明し、ご理解を得ながら、ご協力を頂く業務をこの委員会では行っています。厳しい経済環境の中、思うような調達は難しくなつてきていますが、丁寧な説明を心がけ、また、大会の内容自体を磨き上げた魅力あるものとしながらその循環の中で必要業務を進めています。

大会当日が近づきますと、調達結果と使途とのバランスを各委員会に伝え調整する打合せをほぼ毎日行うに行っている委員会です。(著:F.O)

小名浜まちづくり 市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけられず、お問い合わせください。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)

TEL：52-1275 FAX：52-1415

http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp



©小名浜まちづくり市民会議 / 福島ガイナックス